

2学期がスタートしました！

楽しかった夏休みを終え、学校に元気な子どもたちの声が戻ってきました。子どもたちの表情からは、「2学期、がんばろう！」という前向きな気持ちが伝わってきました。

始業式では、赤木校長先生から「一歩前へ」という合言葉が示され、失敗を恐れず小さな一歩を毎日積み重ねていこうと話されました。うまくいかない時もありますが、あきらめずに再びスタートを切る、その繰り返し子どもたちを大きく成長させてくれます。また、2学期は、社会見学や修学旅行など、学びや人とのつながりがより深く広がる時期です。子どもたちが安心して小さな一歩を踏み出し、大きく成長できるよう、学校全体でしっかりと支えてまいります。

今学期も一人ひとりが輝けるよう、家庭・地域としっかり連携していきます。保護者の皆様、2学期もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

2学期始業式の校長式辞から

2学期の合言葉：一歩前へ



つんく♂の

大切なものを失っても、そこで終わりではない

歌手にとって命である「声」を失ったつんく♂さんは、苦しみの中で「自分にできること」を考え、新しい目標を見つけました。



“「思いどおりにならないことがあっても、別の方法を考えればいい」”

失敗や困難に直面したとき、もう一度やってみようとして一歩踏み出すことが、学校生活でも最も大切です。



2学期の3つの約束



1. 目標を決める

漢字、計算、読書、友達への優しさなど、自分なりの目標を決め、毎日少しずつ取り組みます。



2. チャレンジする

「やったことがないから」と諦めず、「やってみよう！」の気持ちを大切に。失敗から学べるがたくさんあります。



3. 勉強をがんばる

「分からない」は「分かる」ためのスタートです。先生や友達に聞きながら、家庭学習も積み上げていきましょう。



小さな一歩を毎日続けよう

昨日の自分より一歩前へ。勇気を出して手を挙げる、友達に優しくする、失敗しても再挑戦する。そんな小さな積み重ねが大きな成長に繋がります。

2学期は「大きく成長する学期」

1年で一番長い2学期だからこそ、つんく♂さんのように新しい一歩を踏み出し、最高の学期にしましょう。

夏休みのプール開放

7月21日から25日までの5日間で、夏休みのプール開放が行われました。今年もボランティアとしてたくさんの方にご協力いただき、無事故で終えることができました。

ボランティアの皆様、暑い中、ご協力いただき本当にありがとうございました。

サマースクールで学習支援

7月30日には、保護者ボランティア主催でサマースクールが行われ4年生以上14人が参加しました。空き教室と図書室を開放し、夏休みの課題や作品づくりを保護者の方や中高生がサポートする企画でした。途中、持参したお弁当を食べたり、レゴの作品を作る楽しい活動もあったりと、学びながら交流できる充実した1日となりました。



作文を書く子、作品応募の絵を描く子、習字の練習をする子、科学研究に取り組む子など…。困ったときにはボランティアの方に助言してもらい、学習をすすめることができました。



三次市認定サステナアンバサダーの中高生も、科学研究のサポートをしてくれました。

教育実習生が来ています

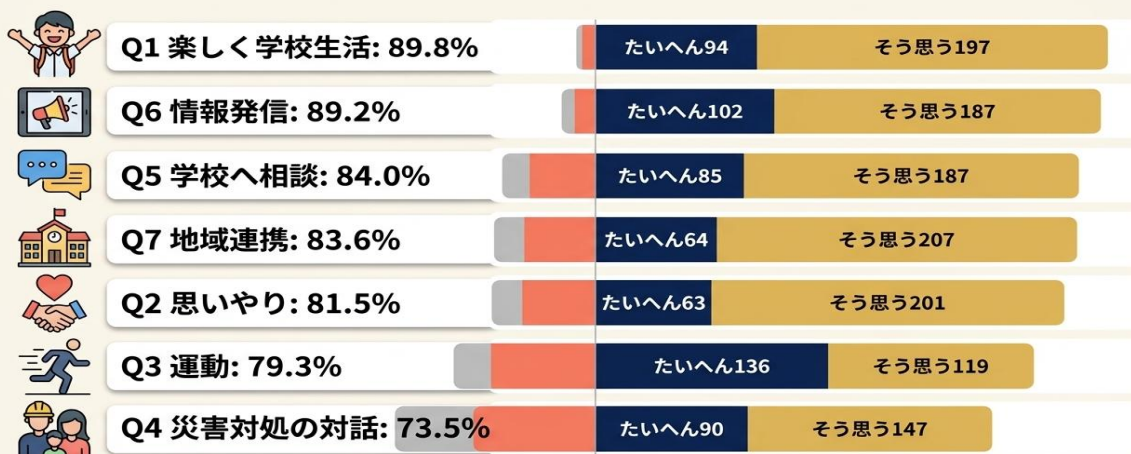
9月1日から1か月間、本校の卒業生が教育実習にきています。主に1年生の学級に入りながら、授業や子どもたちの生活を学び、教職について理解を深めています。

温かく見守りながら、実りある実習となるよう学校全体で支えています。

学校評価保護者アンケートの結果とこれからの取組について

学校評価に係る保護者アンケートに回答いただき、ありがとうございました。

アンケート結果は次の通りです。



© NotebookLM

アンケートの結果、「楽しく学校生活を送っている」「学校からの情報発信」の項目で多くの肯定的回答をいただきました。一方で、「運動への親しみ」「家庭での防災の話し合い」は肯定的回答が8割を下回る結果となりました。

この結果を受け、体育や休み時間等に運動を楽しめる体験を増やすとともに、ご家庭でも低学年のうちから災害時の行動について定期的にお話しいただくようお願いいたします。

今後も、子どもたちが安心して過ごせる環境と、保護者の皆様が相談しやすい体制づくりに努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。